

四代中尾都山校閱  
都山流尺八樂譜

竹の四季より

夏

一尺八寸管

[illegible]




〔解説〕  
…蟬の鳴き声に暑さを感じながらも、「秋のにおい」を感じさせるころ、つまり晩夏が、私はとても好きである。盞蘭盆が過ぎると紅葉が始まり茅蜩が鳴き始める。夜には蟋蟀が鳴く。生きる物のすべてが逆らうことなく、当たり前のように現れ消えて行く、不思議な自然を表現した。曲の終わりに出る民謡風の豊かなリズムは、夏の風物「祭り」の華やかさを表している。一九八四年九月作曲